



令和7年度 稲敷市立高田小学校グランドデザイン

茨城県教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
- 郷土を愛し 協力しあう心を育てる

稲敷市教育基本理念

- 郷土を愛し 未来にはばたく
しなやかな人づくり

校訓 強く 明るく 考える

教育目標 よく考え 進んで行動できる 心身共にたくましい児童の育成

経営方針 「児童一人一人が生き生きと学ぶ活力ある学校」を共につくる

組織目標 学級経営を充実させ、確かな学力及び自立心と自己有用感を高める

目指す学校の姿

- 児童が主役となる活力ある学校
- 皆が安心して学べる学校
- 地域とともにある学校



目指す児童の姿

- 思いやりのある子
- 考え、表現する子
- 挑戦する子



目指す教師の姿

- 人間性豊かな教師（人権を大切にする教師）
- 子供と向き合い、関わり続ける教師
- 学び続け、実践する教師（指導力のある教師）



知 自ら考え、進んで伝え合う児童の育成

- すべての児童が参加できる授業づくり
 - 課題解決に向けた対話的で協働的な学びの実践
 - 魅力ある学習課題の設定・発問の工夫
 - 多様な言語活動と振り返りの充実
- 基礎学力の定着と学習習慣の確立
 - 諸調査による実態を把握した指導方法の工夫
 - 習熟度に応じた家庭学習・自主学習への支援
 - 読書活動の推進（家読のススメ）
- ICTの効果的な活用
 - 個別最適な学び（AIドリルの活用）、協働的な学び（外部との連携や発表など）の工夫

■具体的数値目標

- ・評価アンケート：「授業が楽しい」「授業が分かる」 90%
- ・評価アンケート：「自分の考えを伝えられる」 75%
- ・評価アンケート：「自主学習や宿題を自分から行った」 85%
- ・県学力診断のためのテスト：県比較対前年度比 各教科+1%
- ・年間50冊以上の本を読んだ児童 60%

徳 思いやりのある児童の育成

- 一人一人を大切にしたい学級経営の充実
 - 生徒指導の機能を生かした授業づくりや活動づくり
 - 学校生活アンケートやQ-Uテストの活用
 - 「考え議論する」道徳や人権教育の充実
- 自分たちで学校をつくる意識がもてる特別活動の推進
 - 自治意識が芽生える話し合い活動の充実
 - 児童の手による児童会活動、学校行事等の実践
- 豊かな心を育てる活動の推進
 - 相手意識のあるあいさつと感謝の言葉の励行
 - 地域の人的・物的資源を生かした体験活動の充実（SDGsや郷土への視点をもって）
 - 児童のよさを認める「けやきっこ表彰」（家庭と連携）

■具体的数値目標

- ・評価アンケート：「学校が楽しい」「友達と仲良くする」 90%
- ・評価アンケート：「あいさつができる」 90%
- ・「けやきっこ」の表彰 全児童
- ・Q-Uテスト：学級生活満足群 70%

体 健康で安全な生活を送る児童の育成

- 基本的な生活習慣の確立
 - 時を守り、場を清め、礼を正す活動の実践
 - 自己管理能力の向上（手洗い・歯磨き等）
- 体育授業の改善と運動量の確保
 - 体力テスト結果を踏まえた授業づくり
 - 運動量の十分な確保（5分間走、ラジオ体操等）
- 健康教育・安全教育の充実
 - 早寝・早起き・朝ごはんの習慣づくり（家庭との連携）
 - 交通安全・防犯教室、避難訓練の計画的な実施
 - 専門家による生教育講演会、薬物乱用防止教室等の実施

■具体的数値目標

- ・評価アンケート：「運動することが好き」 80%
- ・評価アンケート：「毎日、朝食をとっている」 95%
- ・評価アンケート：「早寝・早起きができています」 80%
- ・体力テストA+B 59%
- ・栄養教諭等による食育授業 全学級で実施

合理的配慮や個別の支援が必要な児童を大切にしたい学校づくり

- 一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実
 - 個別の教育支援計画等による取組の工夫と改善
 - 特別支援教育支援員との十分な連携
 - 校内フリースクールの設置と活用（不登校対応）
- ユニバーサルデザインによる授業づくり
 - 分かりやすい授業づくりと合理的配慮の提供
- 特別支援教育に関する全教職員の専門性向上
 - 校内研修と特別支援委員会等の充実

家庭・地域・学校間連携の充実による開かれた学校づくり

- 学校段階等間の円滑な接続
 - 小中9年間を見据えた学習・生徒指導の実践
 - 保幼小接続カリキュラムの改善
- 家庭・地域との連携の充実
 - 学校だより、HP、学校公開等による情報発信
 - 地域の人的・物的資源の開発と活用
 - 学校評価の実施・公表と積極的な活用
 - 学校運営協議会の充実

教職員の資質・能力の向上

- ・校内研修（学習指導、コンプライアンス等）
- ・外部機関との連携（訪問指導の活用）
- ・校内若手教員研修（OJT研修、自主研修）
- ・相互授業参観による授業改善の推進

【研究テーマ】

自ら考え ともに学び合う児童の育成 — 確かな学力の向上を図る学習過程の工夫をとおして —

働きやすい職場づくり 働き方改革

- ・業務の適正化（経験等に応じた平準化）
- ・教科担任制の導入（加配教員の活用）
- ・勤務時間（時間対効果）を意識した働き方の実践

■具体的数値目標

- ・時間外在校等時間 月45時間以内 85%